

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 長崎県離島医療圏における輸血用血液製剤サプライチェーンの定量分析

[研究責任者] 臨床検査科 部長 長井一浩

[研究の背景]

離島医療機関では、本土の血液センターからの輸血用血液製剤の搬送に長時間を要するため、在庫を多めに確保せざるを得ず、結果として廃棄率の増加に繋がっています。2020年度の全国調査（日本輸血・細胞治療学会）では、離島医療機関の68.6%で血液センターからの製剤到着に4時間以上を要し、78%の施設が大量出血症例を本土の中核病院に搬送している状況が報告されています。また、長崎県の離島医療機関においても、長崎県赤十字血液センターから海路での搬送に片道約4時間を要し、発注から納品までの時間は約16時間に達しています。この結果、赤血球製剤の廃棄率は年間10%以上に及び、全国平均（1.76%）を大幅に上回る状況が続いています。

この研究では、離島圏の医療機関への輸血用血液製剤供給の過程において、数学的なモデル新たな血液製剤供給の在り方を模索するためのデータを計算し、その最適な設計と実現を可能とする根拠を見出すことを目的としています。

[研究の目的]

長崎県の離島圏の医療機関における血液製剤供給過程の現状を詳細に把握し、数学的なモデルを用いて、課題を抽出し、その解決に繋がる新しい供給システムを導入するための最適な設計とその効果を予測します。

[研究の方法]

●本研究は、既存の血液製剤出納記録および配送記録を用いた二次的データ分析研究であり、患者さんへの個人情報の利用や患者さんへの直接の関与は致しません。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から2028年3月31日

●利用する検体、カルテ情報

いずれも使用しません。

●情報の管理

研究で得られた情報は、研究代表者機関であるNHO 長崎医療センター臨床検査科で収集され、集計・解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機

関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：NHO 長崎医療センター 臨床検査科 長井一浩

●研究協力者：

長崎県五島中央病院 血液内科 今西大介

長崎県赤十字血液センター 所長 柴田良仁

[個人情報の取扱い]

本研究では患者さんの個人情報そのものは使用しませんが、血液製剤に付与されているID等は、他の情報と組み合わせることで個人が特定される可能性があります。そのため、これらの情報は適切な管理体制のもと厳重に取り扱います。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

臨床検査科 部長 長井一浩

電話番号： 0957-52-3121（代表）